

島根県益田市、津和野町、吉賀町が「教科書改善の会」（育鵬社）の歴史教科書を採択したことに対して抗議し、直ちに採択を撤回するよう求める

本年9月1日、島根県益田市、津和野町、吉賀町の各教育委員会が、2012年4月から公立中学校で使用する歴史教科書に、育鵬社の歴史教科書を採択したことが発表された。

育鵬社の歴史教科書は、「新しい歴史教科書をつくる会」から分裂した「教科書改善の会」が出版した歴史教科書であるが、その内容は、日清・日露戦争以降の日本の戦争を美化して侵略や戦争の歴史を偽るものであり、かつ、日本国憲法をGHQから押し付けられた憲法であると決めつけるものである。一言でいえば、「戦争をする国」を担う国民を育成しようとする教科書であると言わざるを得ない。

現在、日本全国で、育鵬社の歴史教科書の採択をしてはならないという市民の声が高まり、各地の教育委員会で、育鵬社の歴史教科書が不採択となっている。今回の島根県益田市、津和野町、吉賀町の各教育委員会の採択は、このような市民の声や反対を無視したものである。

このような採択は、子ども達に誤った歴史を教え込み、又、日本の現在と将来に重大な問題を引き起こし、国内はもちろん、アジア近隣諸国からも厳しい批判を受けることは確実である。

われわれ自由法曹団は、島根県益田市、津和野町、吉賀町の各教育委員会が育鵬社版の歴史教科書を選定したことに対し強く抗議するとともに、採択を直ちに撤回するよう、求めるものである。

2011年9月1日

自由法曹団
団長 菊池 紘
自由法曹団島根県支部
支部長 岡崎 由美子